

最近の台湾情勢と台日関係

2015年8月7日

発表者：陳調和



台湾の基本情報

- 人口：2.343万人
- 面積：36.193平方Km（九州よりやや小さい）
- 住民：本省人（73％）客家人（13％）
外省人（8％）原住民（2％）
- 主要言語：中国語、台湾語、客家語、原住民語
- 宗教：仏教、道教、キリスト教など
- GDP： 5.023億米ドル（世界25位）
輸出額：3.032億ドル（17位）
輸入額：2.701億ドル（18位）
経済成長率：3.51％（2014年）
- 主要産業：電気、電子、鉄鋼金属、繊維、精密機械



台北駐日經濟文化代表処の構成

- 1972年9月29日日本と中華人民共和国が国交樹立したことに伴い、台湾との正式外交関係を断絶しました。
- 日台間の実務関係を維持する為、相互に弁事処（在外公館）を設置、台湾側の「亜東関係協会」、日本側の「交流協会」はそれぞれの代表機構となる。
- 1992年5月に「台北駐日經濟文化代表処」に改名、現在東京、大阪、横浜、福岡、沖縄、札幌など6個所の事務所を持つ。「交流協会」は台北、高雄二つの事務所がある。
- 窓口として日台間様々な交流と往来を担当する。

駐日本代表処の建物外観



建物はわが国出身で日本在住の著名な建築家、郭茂林氏の設計、監督によるもので、1989年2月9日に落成した。

駐日本代表処代表の公邸外観



駐日代表公邸もわが国出身で日本在住の著名な建築家、郭茂林氏の設計、監督によるもので、1989年2月9日に落成した。

台湾の対外関係

1. 厳しい国際環境に面する
2. 正式外交関係を有する国は22カ国
中南米（12） 大洋州（6）
アフリカ（3） 欧州（1）
3. 79カ国で代表機構を設置する
事務所全部120個を持つ（日本6、米13）
4. ノービザ適応国142カ国と地域
5. 22カ国の友好国との関係維持、アメリカや
日本、EU諸国との実務関係増強



台湾の対外関係

6. 中国大陸の全力阻止や妨害の下で、国際機構
また地域経済統合（TPPなど）の参加、貿易
協定（EPAなど）の締結に努力：

2013年3月.米と貿易投資枠組み協議の再開

> 7月.ニュージーランドと経済合作協定

> 11月シンガポールと経済貿易協定

国際社会において人道援助者、文化交流推進者
の役割を果たす



近年の台日関係-緊密な交流

一、特別パートナーシップと位置付け、日台関係を重視

二、人的な往来：

2013年日本国会議員119人、知事（副知事）31人訪台

2014年> 99人、 30人訪台

・2011年「台日オープンスカイ協定」調印、観光客が年々増え

2014年相互往来人数460万人（訪日297万・訪台163万）

台湾人は来日外国観光客の一位となった

・現在台日間往来する航空便数毎週461便

三、経済交流：

・日本は台湾にとって第3の貿易相手、台湾は日本にとり第4の貿易相手

・去年の台日間貿易額616億米ドル

・2010年4月30日台日双方交流と協力の強化に関する覚書を締結

・2011年9月台日投資協定を結ぶ、産業連携架け橋プロジェクトの推進、
台日産業連携推進オフィスを設立

・2013年4月台日民間漁業取り決めに署名

・2013年11月台日間6つのMOUを締結（電子ビジネス、特許優先権、鉄道
交流、薬事規制協力、航空機搜索救難協力、金融モニタリング協力など）

・2014年11月台日間新たに4つのMOUを調印（観光、特許手続、原子力発
電、出入国管理など）



近年の台日関係-緊密な交流



四、文化交流：

双方の団体は日頃に芸術、音楽、書道、伝統工芸、

映画、スポーツ、地方祭りなどを通じて頻繁に交流している、近年主な交流やイベント：

＊2012年11月台湾の国家交響楽団来日公演

＊2013年4月日本宝塚歌劇団の台湾初公演

東宝交響楽団
Philharmonia TAIWAN
フィルハーモニア台湾

指揮：呂紹嘉
指揮リユウ・シャオチャ
「呂紹嘉」
Mami Hagiwara, Piano
ピアノ：萩原 麻未
「萩原 麻未」

2012.11.9 (金) 19:00
東京オペラシティコンサートホール
Friday, November 9, 2012 at 7 pm, Tokyo Opera City Concert Hall

チャイコフスキー：幻想序曲「ロミオとジュリエット」
Tchaikovsky: Overture-Fantasy "Romeo and Juliet"
柴科夫斯基：《露西爾與萊蒙》幻想序曲

グリーグ：ピアノ協奏曲 イ短調 op.16 ——— ピアノ：萩原 麻未
Grieg: Piano Concerto in A minor op.16 ——— Mami Hagiwara, Piano
葛林格：ムハ調鋼琴協奏曲

ドヴォルザーク：交響曲第9番 亦短調 op.95「新世界より」
Dvořák: Symphony No.9 in E minor op.95 "From the New World"
徳ワル扎克：第九號交響曲「新世界」

料金：\$¥7,000 A¥5,000 B¥3,000
主催：KAJIMCIC

KAJIMCIC

地方交流（青森と台湾）

- 一、日本と台湾の地方自治体は各自の特徴を持って頻繁な交流を行う
 - 二、地方交流を重要視、内容は多様化>
 - *知事（議長）の引率、行政と関係業者など同行
 - *農林水産のPRと輸出、投資や観光客の誘致活動など
 - *温泉、伝統まつり、観光スポットを通じ相互交流
 - *ユニークなイベント：台日間同じ名前の鉄道駅32ヶ所
 - 三、両国民理解を深まる>相互に親近感
- 2014年3月-8月まで一日同名駅長の全国募集、11月台湾で実施、小林幸子親善大使と一緒に台湾訪問

板橋-桃園-富岡-大山-日南-清水-追分-豊富-豊原-大里
龜山-中里-新城-平和-豊田-南平-大富-瑞穂-大村-田中
水上-新市-大橋-岡山-竹田-東海-池上-関山-竹中-横山
富貴-松山

*道後温泉と北投温泉 岐阜美濃と高雄美濃

小林幸子親善大使と32同名駅長の任命式





青森と台湾

三、青森と台湾の交流：

相互訪問＞三村申吾県知事が幹部と関係業者を引率し
台湾を訪問。台湾新竹縣長邱鏡淳と
地方関係者も青森訪問

農業交流＞2014年青森りんご台湾へ輸出量2万737トン
青森輸出入りんご量の83%占め（台側統計）
外国から台湾へのりんご輸入量：
米国1位（65%）日本2位（23%）
チーリ3位（9%）

民間往来＞青森日華親善協会（会長：山崎力参議院）
日本友人と台湾の親善交流

＞2013年青森ねぶたの台湾新竹ランタン祭りに
初参加、2014年元宵節も登場

＞青森市と新竹県友好交流協定を結び（2014年
10月17日）



三村知事とミス林檎あおり台湾でのPR



新竹県と青森市の友好交流協定締結式

鹿内博市長と邱鏡淳縣長2014/10/17



台日間の国民感情

* 両国民の意識調査について

- 当代表処が2011年6月に世論調査会社に委託し、日本人を対象した世論調査の結果、66.9%の人

が台湾に「親近感」を持ち

、91.2%が「

台日関係は良好」であると

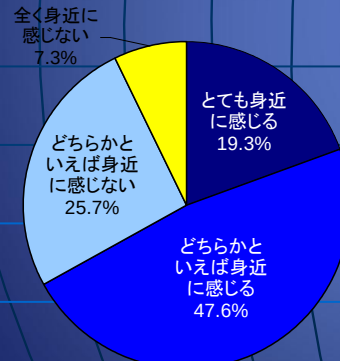
考え、84.2%

が「台湾は信頼できる」と

回答した。

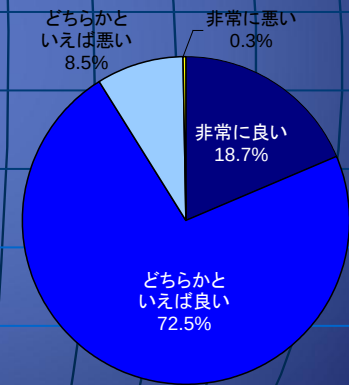
您是否對台灣有親近感？

對於是否對台灣有親近感的問題、回答「相較來說感到親近(47.6%)」為最多、與「感到非常親近(19.3%)」合計為67%。



您認為現在的台日關係是否良好？

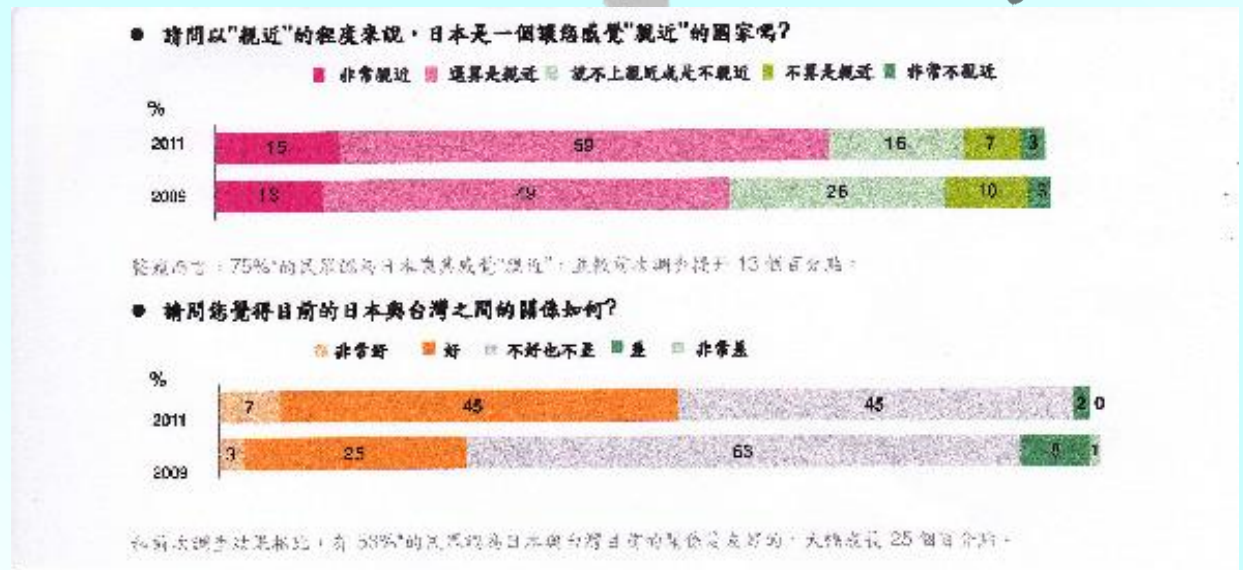
對於現在的台日關係、認為「相較來說良好(72.5%)」的超過70%、與「非常良好(18.7%)」合計為超過90%的受訪者認為台日關係良好。



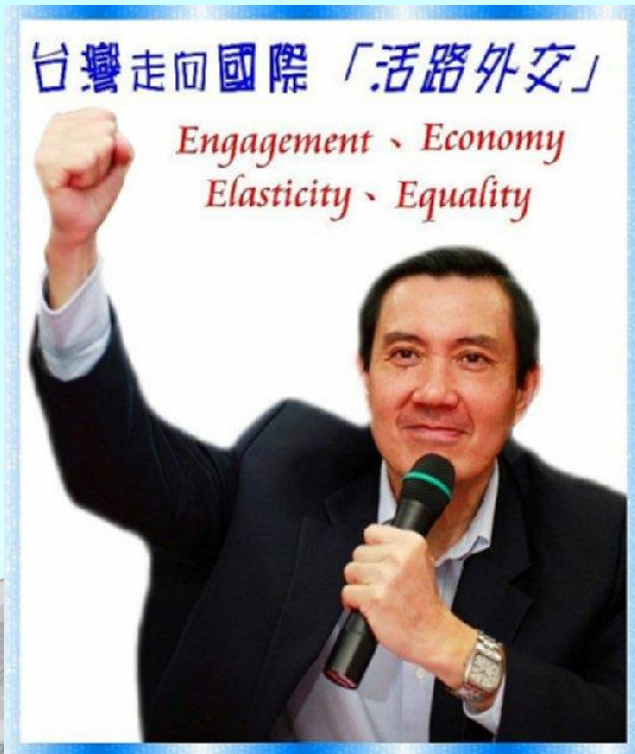
資料來源：駐日本代表處於2011年5月18日至5月23日委託尼爾森民調公司調查報告

台日間の国民感情

- 日本の交流協会台北事務所が2012年3月に発表した「2011年度台湾における対日世論調査」によると、台湾の53%の人が日本と台湾の関係は良好であると考えており、2009年の調査より25ポイント上昇した。また、台湾の54%の人が日本は信頼できる国であると回答し、09年度より13ポイント上昇した。そのほか、台湾の75%の人が日本は親近感のある国であると答え、前回調査より13ポイント上昇した。
これらは台日両国民の間に友好的感情があることを示している。



今後の台日関係への期待



＊「活路外交」政策の下、台湾の国際社会参加及び地域貢献、特に台日関係の更なる増強を図り、両国経済投資、文化、観光等の分野で引き続き成果の向上。

今後の台日関係への期待

1、台日国会議員外交の継続推進

- ・台湾側「立法院台日国会議員聯誼会」と日本側「日華議員懇談会」（超党派273名）の交流強化

2、地方交流にの協力と支援

- ・日本の各都道府県および市町村等の自治体首長の訪台、並びに台湾の各県市政府首長の訪日をサポート、地方観光、物産、経済、文化等の交流促進。



2012年6月26日頼清徳・台南市長が訪問団を
伴い訪日、東京で農産物をPR

今後の台日関係への期待

3、台日間締結した各種協定の内容実現

- 2010年4月30日亜東関係協会と交流協会が「台日双方交流と協力の強化に関する覚書」を調印、二国間の経済、文化、科学技術、防災、観光、海事、環境医療など15項目の内容を包含、それぞれの取り組むと実現
- WTOの枠組みの下で経済連携協定（EPA等）を通し東南アジアや中国市場へ共同進出、双方の利益となる

4、青少年と次世代の相互交流の強化

- 親日派（知日派）の減少と高齢化
- 留学、修学旅行、学生交換、ホームステイなど通じ相互理解を深め（共鳴共感の接点を作る）

今後の台日関係への期待

お結び

台日関係は1972年国交断絶以来一番よい時期
両国民の相互親近感と信頼感を重要視、双方政
府と民間の力を合わせて、日台関係のさらなる
邁進と発展を心よりお願い申し上げます。

ご清聴

ありがとうございました

